令和元年度　ふれあい看護体験

「５月１２日は看護の日　看護の心をみんなのこころに」をメインテーマに今年もふれあい看護体験が県内の４６施設で実施されました。各実施施設では工夫を凝らしたプログラムの体験内容を通して、看護の素晴らしさや理解を深める取り組みをしていただきました。

参加者は、テレビのドラマやニュースを見て憧れて参加した小学生から、進路について考えている中学生、看護師志望の高校生、そして親子で参加したお母さんまで幅広く体験し、「とても勉強になった」「今回の体験を生かして大学で看護学を学びたい」などの感想が聞かれ、充実した体験になったようです。

４６施設　参加者５２５名
小学生　　８１名
中学生　　６３名
高校生　３５９名
一　般　　２２名

実施施設担当者からの感想と実施内容

・看護師を目指した頃の気持ちに立ち戻ることができ、あらためて看護のすばらしさを感じることができました。
・１日看護体験をとおして、体験者から「看護師という職業に興味をもった」、「看護師になりたいと言う思いが強くなった」と言う意見があり、今後も看護師を志す学生を支援できるよう今後も企画の内容を検討していきたいと思いました。
・将来看護師になりたい!!というたくさんの子ども達の声と、キラキラとした瞳に私たち看護師も感動しました。
・将来の夢に向かって輝いている瞳を見ることができ実施施設側も新たなエネルギーをもらうことができました。
・心肺蘇生法などの演習を体験してみて、救命の大変さを感じていたようでした。
・看護師が患者様と生き生き関わる姿と様々な業務の見学・説明により、看護職に対する理解が深まり、看護師を目指すと言う将来の目標に向けた思いが強く窺えました。

参加者からの感想

・実際に患者さんとふれあうことでより看護に興味を持つことができました。また、担当していただいた看護師さんからも沢山お話を聞くことができ、今回の体験が進路の大きな手助けとなりました。
・車椅子体験や病室の移動体験、血圧測定体験等とても貴重な体験をさせていただきました。
・看護師の皆さんが活躍している現場を見て、私もいつかはこの現場に関わりたいという思いが強くなりました。
・看護師さんの仕事を見て、大きな声と笑顔で話しかけることは一番大切なことだと感じました。

参加者からの感想

・これまでいくつかの看護体験を経験しましたが、訪問看護の体験は初めてでした。訪問看護では、コミュニュケーション能力が必要だと感じ、看護師の方は地域の方々と触れ合う事が上手だと感じました。
・私の将来の夢は助産師ですが、看護師の仕事が基本となっていくと思うので、今日の体験で学んだ患者さんとの接し方や仕事をしていくうえで臨機応変に考える力を、これからの生活で身につけていきたいと思いました。
・看護師さんは私が思っていた通り、とても優しく、患者さんのことを一番に考えていることが、この体験を通して知ることができました。また、治療だけではなく、心のケアもしていることに気づくことができました。
・体験を通して、看護師さんのちょっとした気遣いや優しさで、多くの患者さんが笑顔になれる職場だと感じました。
・血圧測定や聴診器の使用、そして赤ちゃんを抱いたり、お膳を下げたりと、普段したことのない体験をたくさん体験することができて良かったです。

ふれあい看護体験実施施設一覧　４６施設

奄美中央病院	小原病院	県立姶良病院	薩摩郡医師会病院
奄美病院	鹿児島厚生連病院	県立大島病院	鮫島病院
池田病院	鹿児島市医師会病院	県立薩南病院	春陽会中央病院
出水総合医療センター	鹿児島赤十字病院	県立北薩病院	昭南病院
いづろ今村病院	鹿児島大学病院	国分生協病院	瀬戸内徳洲会病院
今村総合病院	鹿児島徳洲会病院	国立病院機構 指宿医療センター	曽於医師会立病院
大勝病院	笠利病院	国立病院機構 鹿児島医療センター	種子島医療センター
大島郡医師会病院	加治木温泉病院	国立病院機構 南九州病院	垂水市立医療センター 垂水中央病院
大隅鹿屋病院	喜界徳洲会病院	国立療養所奄美和光園	天陽会中央病院
沖永良部徳洲会病院	霧島市立医師会 医療センター	国立療養所星塚敬愛園	名瀬徳洲会病院
おぐら病院	県民健康プラザ 鹿屋医療センター	済生会川内病院	南風病院
枕崎市立病院		やまびこ医療福祉センター	